

## 校内の安全点検をしました

副校長 田中大輔

新年度のスタートからおよそ2か月が経ちました。児童・生徒たちは新しい環境になじみ、大いに学んでたくさん遊び、元気に学校生活を送っています。

4月下旬、校内で児童が窓ガラスにより負傷する事故がありました。安全対策の徹底のため、校内の窓ガラスの飛散防止フィルムの貼付状況や危険箇所の確認を全教員で行いました。

確認後、飛散防止対策がなされていなかった箇所には飛散防止フィルムや緩衝材を貼付しました。さらに安全対策として、玄関にあるトロフィー等を飾っている陳列ケースのガラス製の扉部分を取り外す等、不要物品の整理等も行いました。

今回の環境整備で小学部の教室や特別教室、移動時の主な動線上にある窓ガラスや扉の採光ガラス（扉上部のガラス）などの飛散防止対策が完了しました。未対策の箇所は、優先順位をつけ、順次対応していきます。

児童・生徒の安全を守るためには、環境の整備、個々の教員が危険を予見する力を向上させることが欠かせません。児童・生徒、保護者の皆様、教職員にとって安心・安全な学校であるため、一層の対策を図るとともに、一人一人の教員が「もしこうなったら」の意識を常にもち、「事故0（ゼロ）」の機運を高めてまいります。

### 飛散防止フィルム等貼付の様子



### 全校で茶摘み体験

5月6日（金）小学部から高等部まで時間を区切って、茶摘み体験を行いました。5月の陽光がふり注ぐ中、学校の畑で育てたお茶の木から、新しい葉を選んで摘み取る活動に、多くの生徒たちは時間を忘れて取り組んでいました。約8キロの茶葉を摘むことができました。葉を選別した後、学校内で加工し、最終的に約400グラムの粉末のほうじ茶を作ることができました。その後、高等部の生徒が計量、袋詰めをして、お茶のティーバッグをたくさん作りました。この保護者通信の中に一つずる入れましたので、ぜひご賞味ください。今後は、家庭科等の授業でお茶のいれ方やお客様への出し方を学習したり、実際にお客様に差し上げたりする予定です。（文責：伊丹 聡）



## 6月の予定

1	水	
2	木	
3	金	進路校外学習(高等部2学年) 校外学習(中学部)
4	土	
5	日	
6	月	避難訓練(地震)
7	火	
8	水	発達相談
9	木	しいの木集会、安全指導日 学校運営連絡協議会
10	金	進路校外学習(高等部3組)
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	セーフティ教室
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	短縮授業日 13:50 下校
23	木	
24	金	短縮授業日 13:50 下校 保護者通信発送日
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

## 小学部

新学期がスタートしました。新年度に小学部の教員が替わり、子供たちは戸惑いながらも少しずつ授業や活動に見通しがもてるようになり、教員との関わりの中で小学生らしい笑顔が見られるようになってきました。今年度も感染症対策や安全対策をしっかりと行い、安全で楽しい学校生活が送れるように努力していきたいと思います。聞き取り表など、ご協力ありがとうございました。保護者の皆様と寄り添うことで、子供たちの学習に役立てていきたいと思います。一年間よろしくお願い致します。(文責：山田 麻衣)



## 中学部

新年度が始まり、1か月が経ちました。新入生は新しい環境に慣れ、在校生は下級生へ優しく手を差し伸べることで、お互いに絆が深まり、チームワーク良く、毎日が潤いのある生活となっています。

今月は、校外学習へ向けて、歩行を行う時間を多く設け、集団を意識した活動を積極的に行っています。毎月のお便りでは、生徒が意欲的に取り組んでいる様子や自己有用感が高まる活動を中心にお伝えしていきます。

今年度も感染症対策をしっかりと行い、できる活動を増やしつつ安全対策をしっかりと行っていき、各授業・活動が充実した内容になるように努めて参ります。(文責：江口 太郎)



## 高等部

入学式では緊張した面持ちだった新入生も、すっかり高等部の生活に慣れてきました。春から初夏への季節の変わり目ということもあり、1日の気温差に疲れ気味の生徒もいますが、適宜休憩を取りながら、個々のペースで授業に取り組んでいます。

高等部の作業学習では受注作業班、清掃班、陶芸班の3班に分かれ「働く力」を付けるための取り組みをしています。受注作業班では名刺等に使用する用紙を紙すきしたり、「さくらんぼ教室」の授業教材を印刷したりしています。清掃班は、清掃技能検定の練習を応用して校内清掃等を行っています。年間5回ほど東京ビルメンテナンス協会の方からの指導も受けます。陶芸班は泥漿という液状の粘土を石膏型に流し入れて器作りに挑戦しています。

まだ始まったばかりの作業班なので完成品はありませんが、地道に製作していきます。どの作業班も挨拶や報告、道具の準備や片付け、事前事後の掃除等の活動も大切にしています。(文責：古山 武)



